

CASBEE-建築(新築)2016年版
 鳥取市立南中学校管理・特別教室棟増築(建築)工事

 ■使用評価マニュアル CASBEE-建築(新築)2016年版
 ■評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

スコアシート		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q 建築物の環境品質								3.2
Q1 室内環境					0.40			2.7
1 音環境				3.0	0.15			3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40			
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能				3.0	0.30			
2 界壁遮音性能				3.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20			
1.3 吸音				3.0	0.20			
2 温熱環境				2.0	0.35			2.0
2.1 室温制御				3.0	0.50			
1 室温				3.0	0.60			
2 外皮性能				3.0	0.40			
3 ゾーン別制御性				3.0				
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				1.0	0.30			
3 光・視環境				2.7	0.25			2.7
3.1 昼光利用				1.8	0.30			
1 昼光率				1.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備				3.0	0.40			
3.2 グレア対策				3.0	0.30			
1 昼光制御				3.0	1.00			
3.3 照度		教室平均照度500lx		4.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
4 空気質環境				3.8	0.25			3.8
4.1 発生源対策				5.0	0.50			
1 化学汚染物質		F☆☆☆☆を全面に採用		5.0	1.00			
4.2 換気				2.3	0.30			
1 換気量				3.0	0.33			
2 自然換気性能				3.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33			
4.3 運用管理				3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視				1.0	0.50			
2 喫煙の制御		建物全体が禁煙		5.0	0.50			
Q2 サービス性能					0.30			3.3
1 機能性				3.8	0.40			3.8
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40			
1 広さ・収納性				3.0				
2 高度情報通信設備対応				3.0				
3 バリアフリー計画		鳥取県福祉のまちづくり条例にて整備		4.0	1.00			
1.2 心理性・快適性				3.5	0.30			
1 広さ感・景観				3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース				3.0				
3 内装計画		評価する取組が3つ		4.0	0.50			
1.3 維持管理				4.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		評価する取組が9つ		5.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				3.2	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		給水管B・排水管B・冷媒管にCを使用 Eは不使用		5.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				2.4	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3 電気設備				3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				1.0	0.20			
5 通信・情報設備				2.0	0.20			

3 対応性・更新性			3.0	0.30		-	3.0
3.1 空間のゆとり			3.0	0.30		-	
1 階高のゆとり			3.0	0.60	3.0	-	
2 空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0	-	
3.3 設備の更新性			3.2	0.40		-	
1 空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2 給排水管の更新性		構造材を痛めることなく更新・修繕できる	4.0	0.20		-	
3 電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4 通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5 設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6 バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.8
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30		-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		評価する取組5ポイント	5.0	0.40		-	5.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上		評価する取組4ポイント	4.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上			2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	2.7
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	2.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		BPI _m =0.69	5.0	0.20		-	5.0
2 自然エネルギー利用			2.0	0.10		-	2.0
3 設備システムの高効率化		[BEI][BEI _m] = 1.04	1.6	0.50		-	1.6
4 効率的運用			3.0	0.20		-	3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00		-	
4.1 モニタリング			3.0	0.50		-	
4.2 運用管理体制			3.0	0.50		-	
集合住宅の評価						-	
4.1 モニタリング			3.0	-		-	
4.2 運用管理体制			3.0	-		-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.0
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1 節水		主要水栓に節水コマなどが取り付けられている	4.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60		-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.70		-	
2 雑排水等利用システム導入の有無			3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60		-	3.0
2.1 材料使用量の削減			3.0	0.10		-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.20		-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		ー	3.0	0.20		-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		タイル	3.0	0.20		-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			3.0	0.10		-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み			3.0	0.20		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30		-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70		-	
1 消火剤			-	-		-	
2 発泡剤(断熱材等)			3.0	0.50		-	
3 冷媒			3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	2.6
1 地球温暖化への配慮			2.8	0.33		-	2.8
2 地域環境への配慮			2.0	0.33		-	2.0
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善			1.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.3	0.25		-	
1 雨水排水負荷低減			-	-		-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 交通負荷抑制		評価する取組3ポイント	4.0	0.33		-	
4 廃棄物処理負荷抑制			3.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1 騒音			3.0	0.33		-	
2 振動			3.0	0.33		-	
3 悪臭			3.0	0.33		-	
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			2.8	0.40		-	
1 風害の抑制			3.0	0.60		-	
2 砂塵の抑制			2.0	0.20		-	
3 日照阻害の抑制			3.0	0.20		-	
3.3 光害の抑制			3.0	0.20		-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			3.0	0.70		-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30		-	